

市民の皆様へ （7月28日）

7月27日から28日にかけて、市内1例目の「新型コロナウイルス感染症」感染者の勤務先である福祉施設（介護老人保健施設 太陽）において新たな「新型コロナウイルス感染症」の感染者25名（入所者17名、施設職員8名）が確認されました。当該施設において、感染症クラスターが発生したものとみられます。

25名の方は無症状又は軽症のため、当該施設又は自宅での待機を経て、感染症指定医療機関又は入院協力医療機関に入院予定です。

本市としましては、引き続き、熊本県をはじめとする専門機関（D-MAT、クラスター対策班）の支援を受けて、感染拡大の防止に全力を挙げているところでございます。

今後とも迅速かつ正確な情報提供に努めてまいりますので、感染者の方、ご家族のプライバシーへの最大限のご配慮をお願い申し上げます。

このようにクラスターが発生し、本市において感染者が拡大傾向にあることについては、大きな危機感を抱いております。本日、新型コロナウイルス感染症に係る市のリスクレベルを「レベル3：警報」に引き上げ、より一層の対策強化を図ることといたしております。

市民の皆様をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常の生活や社会経済活動の中で、いつ、どこで感染するのか全く予測がつかないものであり、誰もが期せずして感染者となってしまう可能性があります。

このような状況下において、今般、感染が確認された方に対する詮索や誹謗中傷等、卑劣な行為が行われております。しかしながら、今回感染が確認された方は、勇気を持って検査を受けてくださったものであり、この方に対しては感謝を申し上げこそすれ、決して誹謗中傷などを受けることがあってはならないものと考えております。

感染者の方を市民全体で手を携え、支え、助け合い、1日も早い回復を祈ることこそが、新型コロナウイルス感染症という脅威に立ち向かうための大きな力になるものと、確信をいたしております。

また、繰り返しとなりますが、市民の皆様におかれましては、いわゆる「新しい生活様式」の実践に努めていただき、特に（1）身体的距離の確保・（2）マスクの着用・（3）手洗い と、3密（密集・密接・密閉）を避ける等の対策の徹底により、「自分を守り、周りの人を守り、ふるさと山鹿を守る」ことにつながる行動を、重ねてお願いいたします。

あわせて、感染が拡大している地域への往来については、細心の注意を払っていただきますようお願い申し上げます。

市としましても、市民の皆様の安心・安全を最優先に、感染拡大防止に今後とも全力を尽くしてまいります。

令和2年7月28日

山鹿市長 中嶋 憲正